

JGAP認証のその先

田中 侑美 益山 実緒
廣田 望

北陸初JGAP(畜産)認証農場に



ご協力いただいた皆様

- 家畜保健衛生所
- 広域普及指導センター
- 畜産研究所

はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

県内農家へのアンバサダー活動

CGAP
(中央農業GAP)



アンバサダー活動一覧

R5/11/14 肉用牛飼養技術研修会

R6/2/2 令和5年度富山県
畜産関係業績・成果発表会

R6/2/14 畜産女性研修会

アンバサダー活動一覧

消費者の認知度は
低いままなのでは？

?



アンバサダー活動一覧

消費者向けの
アンバサダー活動を
行っていない！

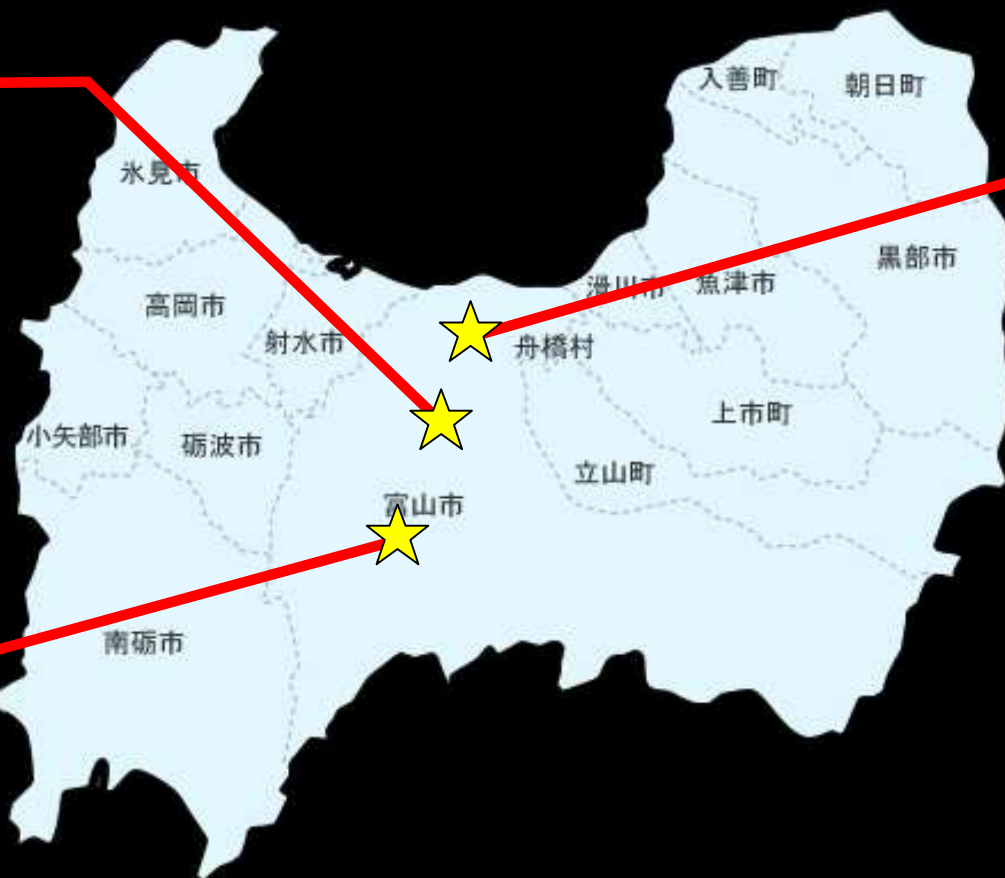


JGAP認知度調査を実施

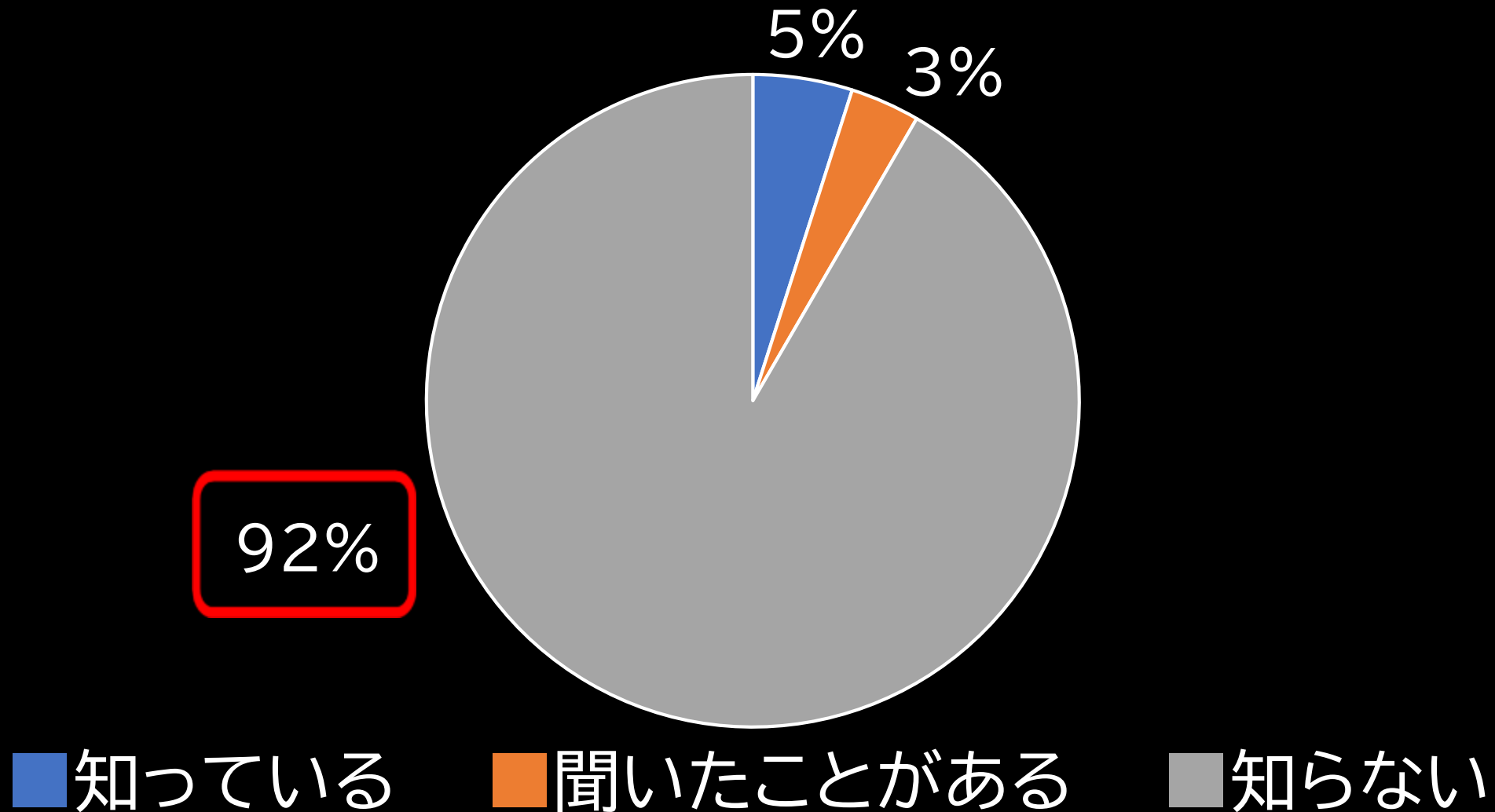
柿安ダイニング
富山大和店

富山駅前

Aコープウインズ
食鮮館



県民JGAP認知度



【取り組み】

- 県民のJGAP認知度UP
- 繁殖成績の向上

取り組み①

県民のJGAP認知度UP

消費者向けのアンバサダー活動

- 小学校での出前授業
- 対面販売
- イベントでのJGAP発表

はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

県内小学校での出前授業



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

対面販売の実施



対面販売の実施



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

← 読賣新聞



↑ チューリップテレビ

北日本新聞 →



子牛お世話 頑張ります
池多小児童 3カ月間 愛情込め

富山市池多小学校の全校児童47人は、子牛の飼育に取り組む。総合的な学習の時間「池多牛から学ぼう」の一環で、県内の牧場から3カ月ほど借り、11日は中央農業高校の生徒から牛を育てる上で大切にしていることや経験生き物に対する愛着や課

題解決力を養ってもらうと、同校が初めて企画。10日に竹田牧場（同市上今町）から生後2カ月の雌のジャージー牛を迎え入れ、牛の「入学式」を開いた。

この日は、中央農業高校生物生産科動物科学コース畜産専攻3年の田中侑美さん（18）、山下みさきさん（18）が講師となり、分岐から出荷までの牛の一生や育

て方のこつを説明した。田中さんは「牛は出荷される運命。だからこそ生きている瞬間を大切に、皆で愛を持って育ててほしい」と呼びかけた。

校内の小屋に行き、牛が喜ぶ様子なども紹介した。2年の南希梨さん（17）は「牛さんは触るとふわふわしていた。3カ月間、優しくお世話したい」と話し

心構えは「うしだいすき」
富山の児童 飼育に挑戦

本物の牛に触れて命の大切さなどを学んでもらおうと、富山市立池多小（西押川）の児童たちが学校に子牛を迎え、飼育に挑戦している。11日は県立中央農業高校で畜産を学ぶ生徒が同小を訪れ、牛と仲良くなるコツを指導した。

「心構えは『うしだいすき』。餌をいっぱいあげて、ちゃんと牛さんを見てあげてね」

この日、教室に集まった児童を前に県立中央農業高校の田中侑美さん（3年）が、お世話のポイントを解説した。同高は和牛の肉質を競う全国大会「和牛甲子園」への連続出場を続ける「強

豪校。児童は、牛に詳しいお姉さんに、牛のなで方などの質問を次々とぶつけていた。

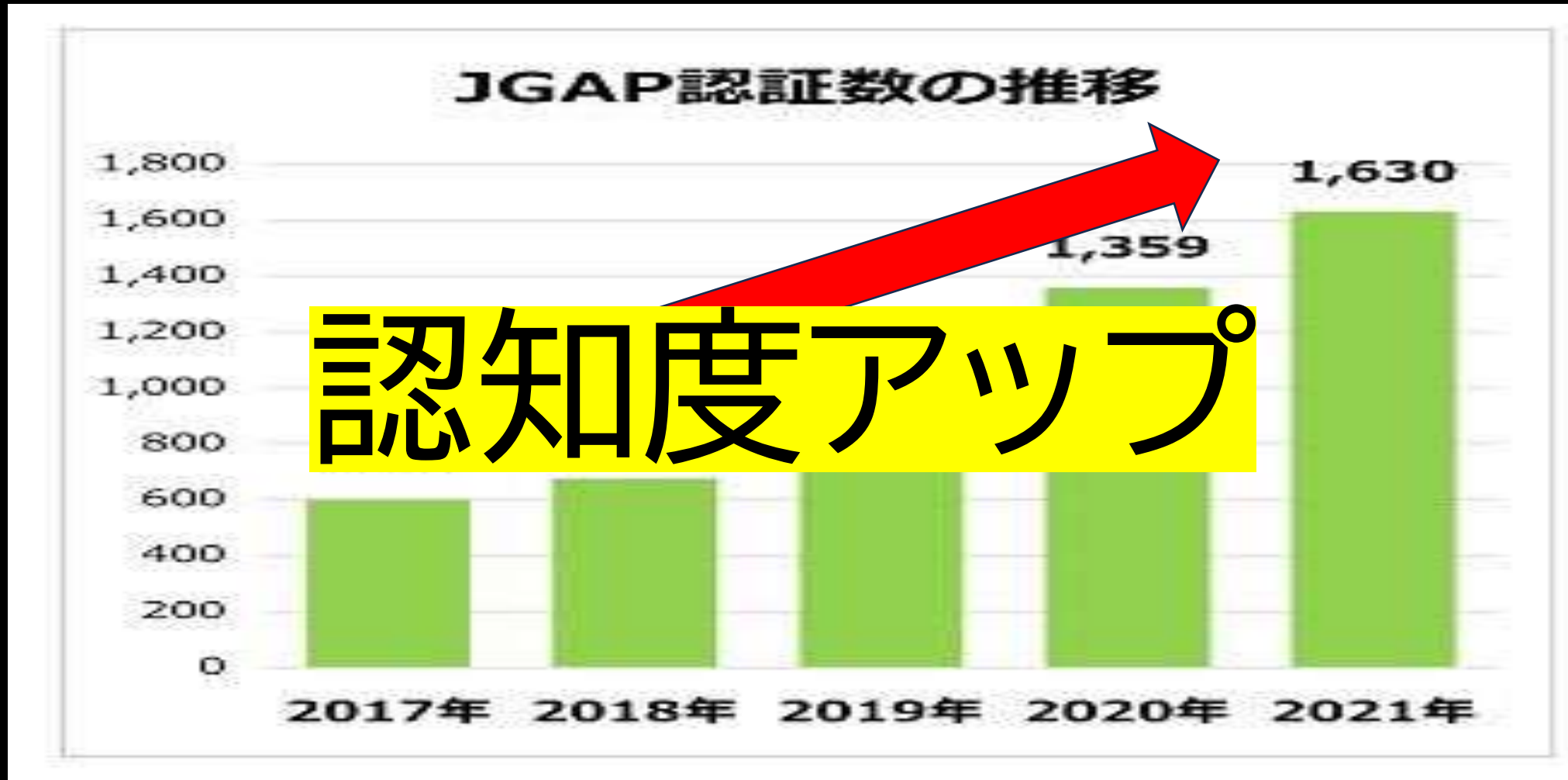
同小2年生の松倉美乃里さんは「大きく育つように、みんなで大切に協力してお世話したい」と笑顔で語り、田中さんは、小

学校で牛を育てることは、なかなかできない。こうやって交流ができることもいいと思う。責任をもって大事に育ててほしい」と話す。

同小によると、今回は生後2カ月の乳牛を借り、児童の手で3カ月間、世話をしていく。今後、名前も児童たちで決めるという。

同小がある池多地域は、和牛「池多牛」を生産する牧場があり、牛とのつながりは深い。児童は今後、池多牛の生産者にインタビューもするという。同小の藤田伊織さん（4年生）は「牛のことについて、もっと知りたい」と声を弾ませていた。

農家が増えれば認知度アップ



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

稲葉山牧野から支援オファー



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

第一回JGAP構築支援会議



JGAP構築支援会議 日程

R6/7/26 第一回JGAP構築支援会議

R6/8/7 第二回JGAP構築支援会議

R6/8/26 第三回JGAP構築支援会議

R6/10/22 第四回JGAP構築支援会議

はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

年度内取得を目指す！！



稲葉山牧野と連携



連携の幅が広がる



当牧場主催のイベントで
アンバサダー活動せんけ！

はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

小矢部市でBBQイベント開催



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

消費者向けのアンバサダー活動



取り組み② 繁殖成績の向上

【本校繁殖牛群】

- 平均BCS数値が低い
- 空胎期間が長い

自然哺育



【自然哺育メリット】

母乳を飲むことができる

免疫機能が大量に含まれている

手間と粉ミルク代がかからない

子牛のアニマルウェルフェア

【自然哺育デメリット】

分娩後の発情回帰が遅れる

プロラクチン分泌⇒生殖ホルモンの抑制
親付けしている限り発情しない

哺乳量の管理ができない

はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

妊娠期間

哺育期間

空胎期間

発情回帰

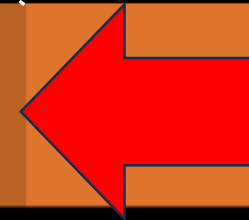
以前

3ヶ月

今後

2ヶ月

離乳



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

生産技術講習 「妊娠牛の健康管理」

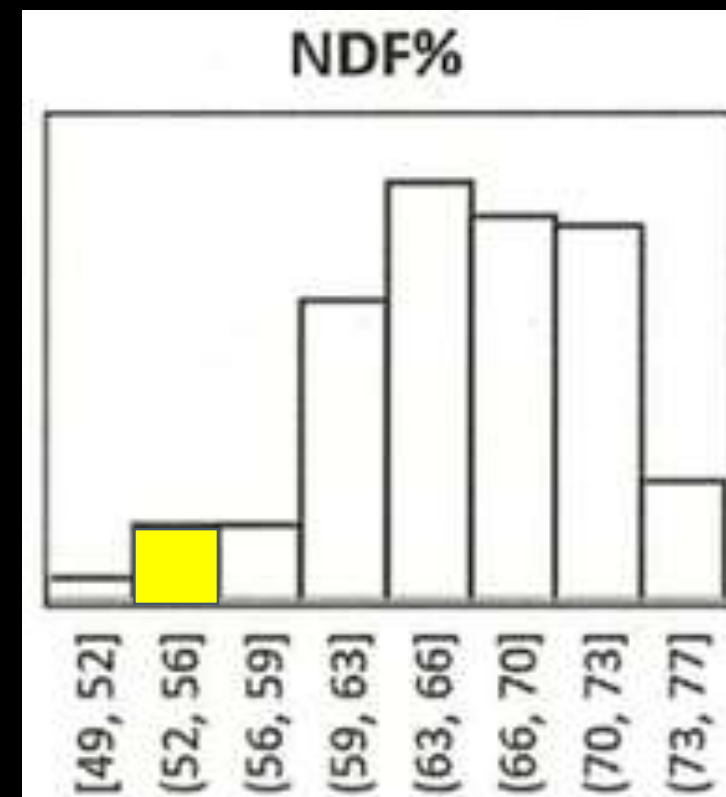
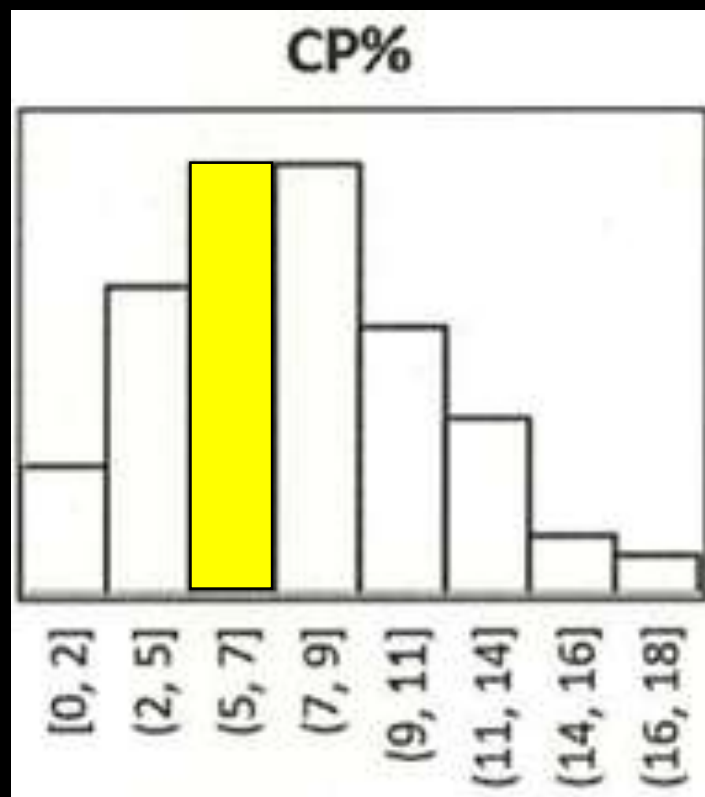


牛が細い気がする



サイレージの質は良いから
配合飼料を見直したらどうかな

サイレージ栄養価の結果



栄養価が高くてたくさん食べられる

飼料設計の見直し

以前 : 朝夕サイレージのみ

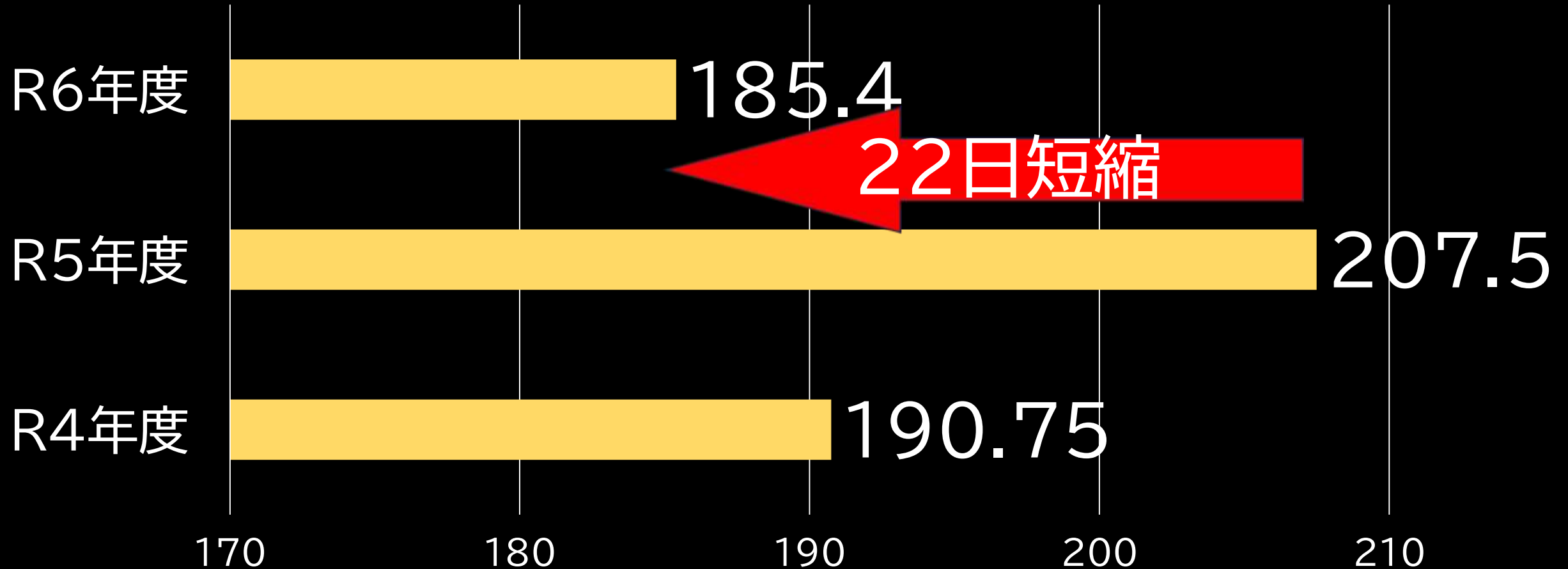
見直し後 : サイレージの量を増やす、
朝のロールを給餌する前に
濃厚飼料を1kg/頭与える

飼料設計の見直し

以前 : 朝夕サイレージのみ

見直し後 : サイレージの量を増やす、
朝のロールを給餌する前に
濃厚飼料を1kg/頭与える

初AI実施日比較



空胎期間の比較

R6年度

250.4

R5年度

165.2

R4年度

244.5

0

50

100

150

200

250

300

日報の見直し

【以前】

畜産部 作業日報

令和5年 月 日 曜日 天候

記入者: 当番生: 人

作業内容

・一般管理

車両名	使用時間	尚牛耳標No.
ホイールローダー	H	
T.CM	H	
ヤンマー	H	
フォード	H	
ジョンディア	H	

連絡事項（発情牛、入荷品、治療牛経過、破損箇所、明日の予定等）

【見直し後】

畜産部 作業日報

令和6年 月 日 曜日 天候

記入者: 当番生氏名:

残飼量 (朝イチ)	繁殖牛群
()	()何も残っていない
()	()全体に薄く残っている
()	()かなり残っている

作業内容

☐ 通路・飼槽清掃
☐ 残飼の後処理
☐ 消毒槽交換

ジョンドディア

耳標No.	症状	処置(経過)

連絡事項（発情牛、入荷品、破損箇所、来場者、明日の予定等）

意識向上

- ☐ 通路・飼槽清掃
- ☐ 残飼の後処理
- ☐ 消毒槽交換
- ☐ 山羊給餌・給水
- ☐ 発情観察
- ☐ その他(右記)

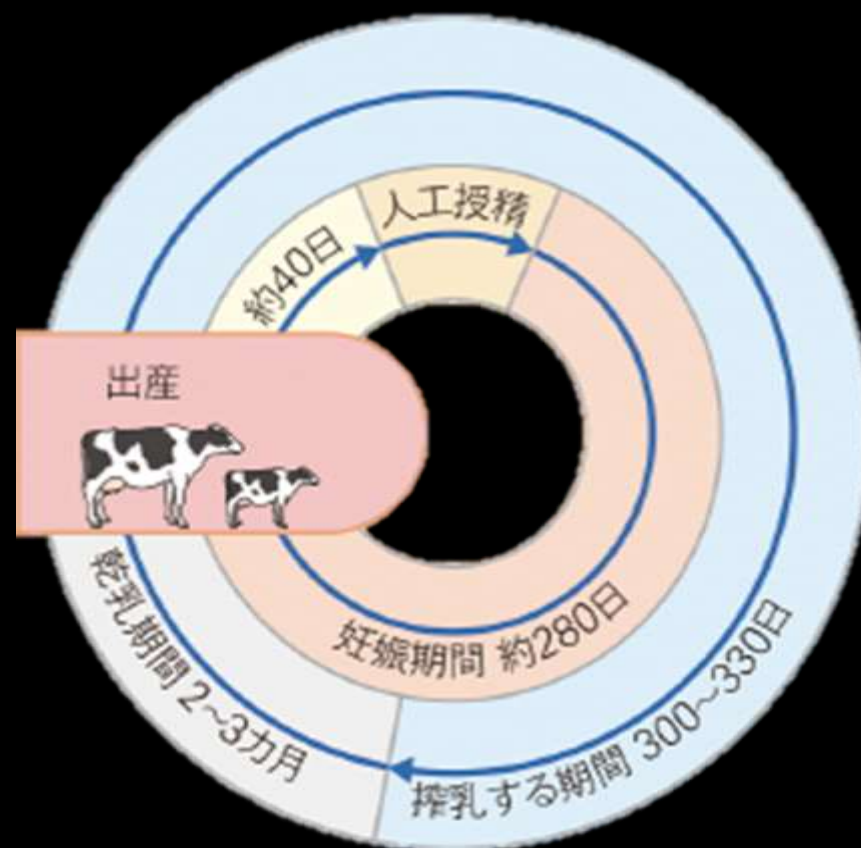
耳標番号：

日付	作業内容				種雄牛
	☐ 発情発見 ☐ その他 ()	☐ A I	☐ 分娩	☐ 離乳	
	☐ 発情発見 ☐ その他 ()	☐ A I	☐ 分娩	☐ 離乳	
	☐ 発情発見 ☐ その他 ()	☐ A I	☐ 分娩	☐ 離乳	



- 発情回帰日の予想
- 的確なタイミングで人工授精可能に

効率的な繁殖サイクルの確立



はじめに

第七回和牛甲子園

取り組み①

取り組み②

終わりに

プライドをかけた和牛の生産

